

元気な時なら

人間ドックを受ける

必要はない？



監修

川崎医科大学附属病院  
健康診断センター 高尾 俊弘 部長  
倉敷市松島577 TEL.086-462-1111

# A

症状がないうちに  
受けることが重要

人間ドックはたくさん項目にわたって詳しい検査を行うため、さまざまな病気の早期発見と早期治療につながります。症状を感じ

るほど悪化していない病気を発見するという点では、企業や自治体  
が実施する健康診断も同様ですが、検査内容が限られています。そのため、健康診断で異常がなかった人でも、人間ドックで病気が見つかることも多いのです。

人間ドックは、無症状期が長く、治療法が確立している病気を治療するうえで、大変有効といえます。たとえば、胃がん、乳がん、肝臓がんなど、症状が現れてからでは手

遅れという病気は、症状が現れる前に見つけることで治療が可能になる場合も少なくありません。

つまり、健康な時、正確には症状がなく健康だと思っている時にこそ、人間ドックを受けることが重要なのです。

人間ドックは、法律などによる規定がないため、所要時間や検査内容、費用は、各施設によって異なります。日帰りや1泊2日、2泊3日などコースはさまざまで、検査内容や費用もまちまちです。また、通常のコース以外に、症状のない脳梗塞や脳血管疾患、脳腫瘍などを発見する脳ドックや、骨粗しょう症の有無を調べる骨検査などのオプション検査を用意している施設もあります。

検査の  
後に

必要に応じ、精密検査や治療、  
生活習慣の改善を

隠れた病気を早期に発見する、あるいは健康であることを確かめることは、人間ドックの目的のひとつです。人間ドックで異常を指摘された場合は、たとえ自覚症状がなくても、医師の指示に従うことが大切です。放置することなく、すでに発症しているのか、将来的に病気になる可能性が高い状態なのかを調べる再検査や精密検査を受け、発症している場合はすぐに治療を受けましょう。

もうひとつの大切な目的は、病気になりそうな傾向を早期に見だし、医師・保健師からの保健指導を日々の暮らしに取り入れて、病気を予防することです。人間ドックを機会に生活習慣を改善し、健康の維持・増進を図りましょう。



検査の  
前に

人間ドックを受ける前に  
ここを注意

時間と費用をかけて受ける人間ドックですから、より正確な検査結果を得るために、次のことに注意しましょう。

- 1 くだんの生活のまま検査を受ける  
ありのままの姿で受けることで、より正確な結果が得られます。
- 2 病気治療中の方は事前に必ず伝える  
検査によっては服用を一時中止しなくてはならない薬もあります。病気の治療を受けている場合は、治療を受けている医師に人間ドックを受ける日にちを伝え、指示を受けましょう。
- 3 検査前日の食事や飲み物の制限は必ず守る  
食事や飲み物が検査の結果に影響することがあります。食事や飲み物の制限を守りましょう。
- 4 問診されても困らないように準備する  
問診では、これまでに罹った病気や現在の健康状態、近親者にどのような病気が多いかなどを聞かれます。既往症や、どのような症状がいつ頃からあるのかなど、具体的に答えられるよう準備しましょう。
- 5 ほかの施設での人間ドックの結果票があれば持参する  
診断の参考となりますので、持参しましょう。

